

東アジア言語・文化交流領域

教授 **村中 菜摘**

専門分野

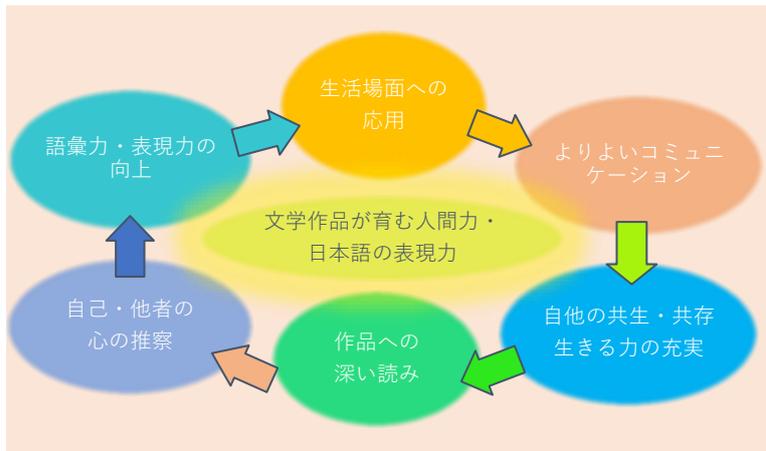
日本文学（中古・中世）
和歌 藤原定家
物語摂取・漢詩文摂取

学位・資格

博士（文学）
日本和装教育協会 師範研究者情報
(Research Map)

専門分野と社会との関わり

日本の文学作品に込められた作者の姿勢や登場人物の生き方を読み解くことで、人間の心の理解につなげ、自分を知ることで人生をよりよく生きるヒントを見つけることを目指します。加えて、社会を生きる上で他者の存在は切り離せないものです。他者とよりよい関係を構うためには、相手の立場や気持ちを汲み取り、それをことばなどで適切に発信し受け取る、言語・非言語コミュニケーションの能力が欠かせません。日本文学作品の登場人物の心の動きや作者の意図を推察し、さまざまな日本語の表現方法に触れる行為は、日常生活で活かせる日本語の語彙力や表現力を磨くことにつながります。



写真などのキャプションはサイズ6pt

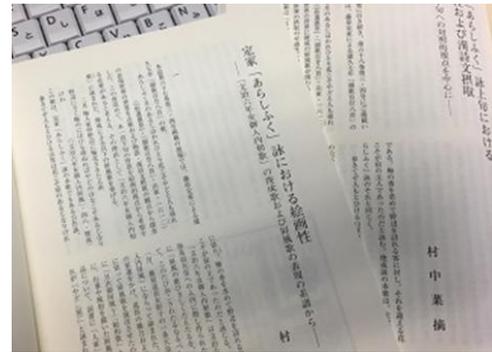
最近の活動紹介

教育活動／研究活動

和歌表現の研究から、日本のことばの魅力を伝えたい

藤原定家の和歌表現を研究しています。定家は『新古今和歌集』の撰者の一人で、時代を代表する歌人です。武士の勢力が、天皇制を中心とした貴族社会を根底から覆した当時、定家は、和歌という貴族文化の象徴が減びないように、新しい表現を開拓しました。古典を書写したりして後世に遺しました。今日私たちが古典文学作品を読むことができるのは、定家のおかげなのです。

和歌はそもそも、人が心に抱く感情を吐露する手段で、その心は形を変えつつ現代に受け継がれています。和歌のことばの力、つまり「伝えたい」という熱意と、よりよく伝えるための表現の工夫が、現代のコミュニケーションにも役立つといえます。



地域貢献活動

岐阜市立女子短期大学公開講座

岐阜市立女子短期大学公開講座で、日本の古典文学の講座を担当しました。今年度は紫式部の和歌と人生について講義しました。

日本文学作品の世界を味わう作業を通して人生をよりよく生きるヒントを見つけることで、受講者の皆さんの日々の活力につなげることができたらと考えています。日本文学を切り口に、本学卒業生の学び直しや、地域の皆様の心豊かな生活を応援します。



教育・研究・地域貢献などへの抱負

研究の面では、藤原定家の和歌表現がどこから生み出されるのかを考え続けています。表現の源泉として、物語・漢詩文に加え、絵画からの影響にも注目しています。

教育活動の面では、日本文学のゼミで作品を講読しながら表現を探求し、人物の心情などを考えることで他者への共感性を高める教育に力を入れています。また日本語表現の授業科目では、世界の一言語としての日本語の特徴を知ることから始め、社会生活や仕事で役立つ日本語のほかにも多文化共生のための「やさしい日本語」の表現力も磨くなど、多様な日本語の表現を身に着けていただけるよう努めています。

教授 村中 菜摘

